

第 30 回市民まちづくり講座 in 明石

次期総合計画(SDGs推進計画)の問題点は、どこにあるのか？

今回の市民まちづくり講座は12月19日(日)に、明石市が来年3月策定へ向けて作業を進めている「次期長期総合計画」(SDG s 推進計画と市は名付けている)の進め方と発表された素案の「どこに問題があるのか」について、市民目線から議論します。

向こう10年間の明石市のまちづくりの方向性と重要課題を「長期計画」としてまとめる長期総合計画は、自治基本条例にも「市民参画による策定」が義務づけられていますが、今回の策定作業は新型コロナウイルス感染症の拡大の中で作業がべた遅れに遅れ、策定時期を1年延ばして現在急ピッチで取りまとめ中です。10月17日には3回目の審議会が開かれ事務局でまとめた「素案」が提示され、これをもとに12月17日から25日まで初の「市民説明会」が開催され、同時にパブリックコメントの募集も行われる予定です。

10年の長期計画にふさわしい策定プロセスが行われたのか？ 審議会での十分な議論もないままにまとめられた「素案」に問題はないのか？ 講座では、こうした問題点を市民目線から検証します。

第 30 回 市民まちづくり連続講座 in 明石

日 時 2021年12月19日(日) 午後1時30分～4時30分

会 場 ウィズあかし8階 市民活動支援センター・ブース(アスパア明石8階)

テーマ **次期長期総合計画(SDG s 推進計画)の問題点は、どこにあるのか？**

問題提起 岡本弘志さん(明石市元部長)ほか

※事前申し込みは不要。どなたでも参加できます。当日会場にお越しください。

市民参画と審議不十分なまま突っ走る コロナ遅れの再延長も撤回し、年度内策定を優先

10年ごとに策定している「長期総合計画」は、2020年度までの第5次計画が切れるために2020年2月に第6次計画を策定する審議会を発足させました。

本来なら、2020年3月には2021年度～2030年度を目途とする第6次計画を策定しておかねばならないはずで、審議会のスタート自体が少なくとも2年以上遅れています。市民自治あかしは2019年6月市議会に「自治基本条例が施行されてから初めての総合計画の策定であることから、より丁寧な市民参画の手順を踏む」ことを求めた請願書を提出してきました。当時の市の計画なら、2020年の1年だけでまとめる“荒っ

ぱい”策定作業になりかねないことを懸念したからです。

私たちの懸念は的中し、第1回審議会は発足したものの同年3月に予定された第2回は新型コロナウイルス感染症の拡大で延期を重ね1年以上経った今年5月にやっと開催される有様です。この間に市は2020年12月に

「骨子案」を発表し市民の意見募集するのと並行して計画の「素案」をまとめて今年3月の市議会特別委に報告、審議会の俎上に上がったのは今年5月の審議会でした。その後10月17日に開いた第3回審議会で

「素案」を了承し12月に市民説明会を開くとともにパブコメに付し、来年2月に第4回審議会を開き答申、3月議会で策定を求める予定です。

